

# ★チャレンジ！夢に向かって★

～ふるさとを愛し、一人一人が「か・が・や・く」国見の子の育成～

## 授業拝見、おじゃまします！！（1・2年複式学級）

6月17日（月）の5校時、1・2年複式学級で養護教諭の〇〇〇〇先生が「はのおうさまをまもろう！」という題材で歯みがき指導を行いました。

6～8歳ごろは、乳歯から永久歯に生え変わる大切な時期です。しかし、正しい歯の磨き方をまだ十分理解していない子どもが多いように思います。そこで、6歳臼歯や正しい歯磨きの仕方を知ることを通して、自分の今の磨き方では十分でないことに気づき、正しい歯磨きをして歯を大切にしようとする意識を高めていくことをねらいとして授業を行いました。6番目の歯は、6歳ごろに萌出することから、「6歳臼歯」と呼ばれています。噛む力が強く、「歯の王様」とも呼ばれていますが、磨きにくいいため、虫歯になりやすい歯でもあります。

授業の導入では、きちんと歯磨きができているという自分の課題に気付かせ、「6歳臼歯」や歯の大切さについて知り、どのように歯を磨くと虫歯にならないか一人一人考えながら授業が展開されました。その後、〇〇先生の自作教材や歯の大型模型を使いながら、磨き方のコツや歯磨きの3つのポイント「歯ブラシの毛先に歯をぴったり当てよう」「軽い力で磨こう」「小刻みに歯ブラシを動かそう」についてみんなで確認しました。続いて染め出し液を使い、磨き残しがあることを知った上で、正しい歯ブラシの持ち方や磨き方について学級担任の築地歩先生と一緒に個別指導を行いました。子どもたちは磨き残しが多いことにビックリしていました。授業で学んだ歯磨きの3つのポイントをもとに、一人一人真剣に歯磨きをしていました。授業の振り返りでは、子どもたち一人一人が授業を通して学んだこと、発見したことを自分の言葉で学習シートに書き、発表し合いました。

学校だよりNo.40でもお知らせしましたが、6月4日～10日は「歯と口の健康週間」でした。令和6年度の標語「歯を見せて 笑える今を 未来にも」にもあるように、歯は一生使っていくものです。養護教諭の専門性を生かし、1・2年生のこの時期に歯磨き指導を行い、子どもたちが歯の大切さを理解することはとても有意義なことだと感じました。

